

## 教員が有する学位及び研究業績等

### 1. 氏名・身分・学歴等

氏名	性	学歴	学位・称号	主たる担当科目
長谷川 達也 (教授)	男	鳥取大学大学院 工学研究科 博士後期課程 修了	工学博士	機械要素・図面

### 2. 研究業績

#### (1) 著書

著書名	発行所名	発行年月	著
自動車整備士試験問題解説 (3D)	株式会社精文館	H14～H15	共

#### (2) 論文

論文名	発表機関名 (雑誌名) 巻号	発表年月	著
ファンベルトのすべりによる冷却水温の変化	自動車整備技術に関する研究報告誌, 第 28 号全国自動車短期大学協会, (1999) p. 14-19.	平成 11 年 12 月 20 日	共
微粒子衝突処理を施した高炭素クロム軸受鋼の疲労挙動	日本機械学会論文集, 68-667, A (2002), 484-490.	平成 14 年 3 月	共
電着銅薄膜による接触面圧計測法 (第 3 報, 微小突起を有する薄膜による繰返し圧力の測定)	日本機械学会論文集, 68-670, A (2002), 930-935.	平成 14 年 6 月	共
A Method of Measuring Contact Pressure of Cylinder Head Gasket	SAE International, 32-0068, (2004).	平成 16 年 9 月	共
Measurement of Contact Pressure by Electrodeposited Copper Foil -Measurement of Cyclic Pressure Using Grain Growth and Surface roughness of Electrodeposited Copper Foil-	Review of Automotive Engineering JSAE, 26-3, (2005) p. 327-333.	平成 17 年 3 月	共
電着銅薄膜による接触面圧計測法に関する研究	鳥取大学学位論文	平成 18 年 9 月	単
回転ローラ間に生ずる接触圧力測定への微小突起を有する電着銅薄膜の適用	日本機械学会論文集, 73-726, A (2007), 238-243.	平成 19 年 2 月	共
銅薄膜の結晶方位を利用した応力測定法 -曲げとねじりを受ける角柱の応力分布-	日本実験力学学会, Vol.12, No.2, (2012), 101-106.	平成 24 年 6 月	共

#### (3) 学会発表

論文名	発表学会の名称	開催場所 (年月)
モードⅡ疲労き裂進展挙動 (第 1 報, 試験装置の製作およびアルミニウム合金 2017-T3 の進展挙動)	東海支部講演論文集, 日本機械学会東海支部, No. 993-1 (1999) p. 115-116.	中部大学 H11. 3. 19)
電着銅薄膜による接触面圧計測法	講演論文集, (社) 日本機械学会 中国支部, 015-1 (2001) p. 3-4.	岡山大学津島キャンパス (H13. 3. 6)
銅薄膜ゲージによるシリンダヘッドガスケットの面圧測定	2001 年春季学術講演会, (社) 自動車技術会, 70-01 (2001) p. 17-20.	パシフィコ横浜 (H13. 5. 25)

電着銅薄膜の成長粒子発生密度を利用した繰返し圧力の測定法	講演論文集, (社)日本機械学会 中国支部, 025-1 (2002) p. 139-140.	近畿大学工学部広島キャンパス(H14.3.5)
エンジンのシリンダヘッドガスケットに対する新たな面圧測定法	2002年春季学術講演会, (社)自動車技術会, 70-02 (2002) p. 17-20.	パシフィコ横浜 (H14.7.25)
電着銅薄膜による接触面圧計測法	2004年秋季学術講演会, (社)自動車技術会, 92-04 (2004) p. 17-22.	仙台国際センター (H16.10.27)
微小突起を有する電着銅薄膜の成長粒子発生密度を利用した繰返し圧力計測法	講演論文集, (社)日本機械学会 中国支部, 065-1 (2006) p. 11-12.	広島大学 (H18.3.8)
回転ローラ間に生ずる接触圧力測定への微小突起を有する金属薄膜の適用	講演論文集, (社)日本機械学会 中国支部, 065-1 (2006) p. 17-18.	広島大学 (H18.3.8)
ファンベルトのすべりによる冷却水温の変化	自動車整備技術に関する研究報告誌, 全国自動車短期大学協会, 第28号(1999) p. 14-19.	高山短期大学 (H11.7.29)

#### (4) 本学論叢

タイトル	投稿巻号	発表年月	著
自動車部品の面圧測定(第1報, ガソリンエンジンのシリンダヘッドガスケット)	論叢 第31号	平成13年3月	共
自動車部品の面圧測定(第2報, ジーゼルエンジンのシリンダヘッドガスケット)	論叢 第32号	平成14年3月	共
自動車部品の面圧測定(第3報, 締付け方法の相違によるシール面圧の発生状況)	論叢 第33号	平成15年3月	共

### 3. その他の業績(研究業績以外の多様な業績)

○教育方法の実践例

(1)09年度春学期のキャリアデザイン科目の総括 -08年度のキャリアデザイン講座のレビューの共有と09年度春学期の実施結果の総括と今後- (神野学園研修会 NAC分科会で発表):平成21年8月

### 4. 社会における貢献

--